

アルミニウム合金製可搬式作業台

ラクダ 楽駝

社仮設工業会認定品

ご使用前 に再確認

「使用前点検は 終わったか」 「手がかり棒は セットしたか」

楽駝15号・18号



使用上の注意事項

危険 この製品は電気を通します、感電にご注意ください。
警告 最大積載荷重150kgf(1470 N)を守ってください。

警告 同時に二人以上乗らないでください。



警告 「楽駝」を手放して登り降りしないで下さい。また、正面を向いて降りないでください。
警告 「楽駝」の踏さん、天板から飛び降りたりしないでください。



警告 作業中、「楽駝」の上で壁や物を無理に押ししたり、引いたりしないでください。



警告 天板での作業で上ばかりに気を取られて足を踏み外さないようにしてください。



警告 身体の安定が得られないような荷物を持って、登り降りしないでください。



警告 「楽駝」から横に身体を乗り出して作業しないでください。



警告 踏さんは、一段ずつ、しっかり足をかけてゆっくりに登り降りしてください。



注意事項を守らないと重大な事故や、製品の破損が生じる恐れがあります。

注) イラストは一部部品を省略しております。

ご使用前の点検

日常
点検

※異常がある場合は絶対に使わないでください。
※正常に機能しない場合は絶対に使わないでください。

異常はないか
正常に機能するか

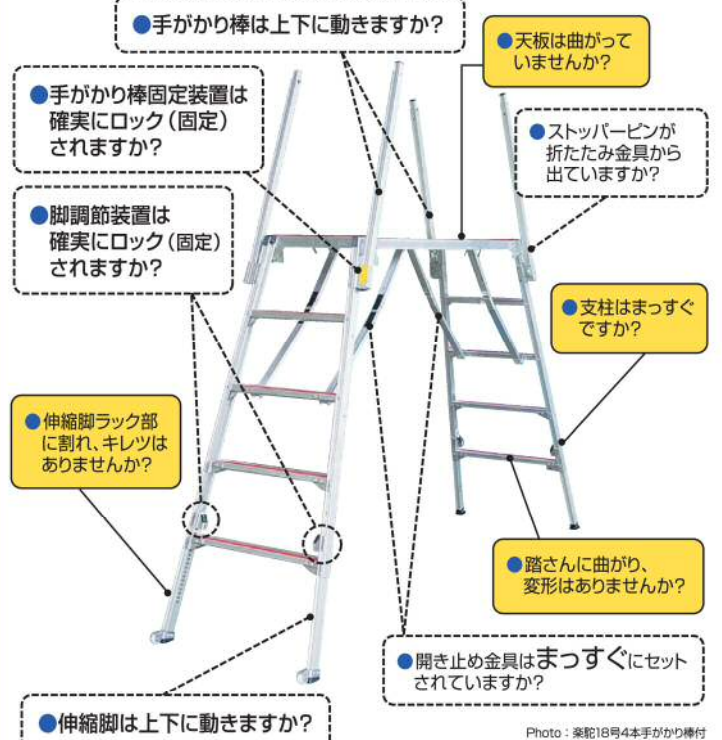


Photo: 楽駝18号4本手がかり棒付

“おかしい”と思ったら機材を使わず、すぐ管理責任者へ連絡してください。

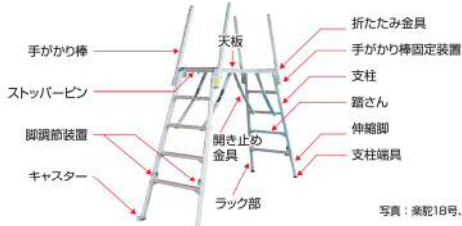
使用会社名
管理責任者名
問い合わせ先



- 可搬式作業台「楽駝」は、正しく使われていない場合転倒や転落の危険があります。お使いになる時には本製品の安定した状態を確認してください。
- この取扱説明書に書かれた使い方以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任は負いかねます。
- 本体を傷つけるような、乱暴な取扱いをしないでください。

NAKAO

各部の名称とサイズ



写真：乗鞍18号、4本手かかり棒付

品名	垂直高さ (mm)	天板部 (mm)		設置スペース (mm)		重量 (kg)	最大積載荷重
		天板巾	天板長さ	W	D		
乗鞍11号	780~1,141			675~741	2,180~2,408	17.3	150kgf (1470 N)
乗鞍15号	1,118~1,479	520	1,560	737~803	2,393~2,621	21.6	
乗鞍18号	1,456~1,817			799~865	2,606~2,834	24.2	

※製品の仕様は予告なしに変更する場合がございます

「脚調節装置」と「手かかり棒固定装置」の使い方

脚調節装置

「乗鞍」は、伸縮脚の調節により高さを調節することができます。

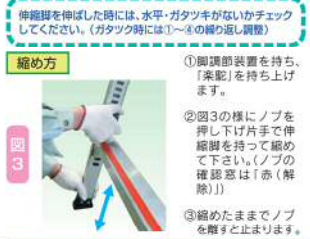
伸ばし方



手かかり棒固定装置

「乗鞍」の手かかり棒は上下のスライド式です。

伸ばし方



こんな時は？
ノブが固くなって動きにくい場合は安全機構が働いているので、たいたりせず、図3の様に「乗鞍」を持ち上げ、ノブを下げながら伸縮脚を下に引っ張ってください。

※手かかり棒の操作は床に降りて操作してください。

移動のしかた

「乗鞍」を移動させるときは、支柱をたたくで運ぶ(下図1)、キャスターを動かして運ぶ(下図2・3)のようにしてください。
※伸縮脚は必ず縮めてください。



こんな使用はやめてください



設置場所について

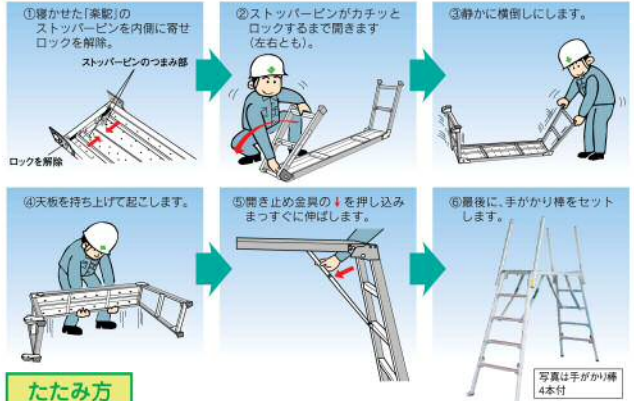
- 出入口や扉の前
- 足元や周囲の暗い場所
- 雨や風の強い場所
- 作業台の水平が取れない所
- 感電するので電気コードにも注意
- 傾斜地や開口部付近



組み立て方について

注) イラストは一部部品を省略しております。

組み立て方



たたみ方



お願い

毎日行っていただきたいこと

安全に作業を行っていただくために、使用前に必ず以下の内容の確認を行ってください。

- 「ご使用前の点検」(日常点検) ※表面にイラスト掲載しています
不具合箇所の早期発見をお願いします。
- 「おかしい」と思ったときはすぐに管理者の方へ連絡してください。
- 「使用上の注意事項」の確認 ※これらは表面にイラスト掲載しています
- 「乗鞍」をお使いになる時、必ず守っていただきたい内容。
- 「体調チェック」
体調不良の時は使用しないでください。

天板への登り降りは正しく行いましょう

- 最も多い事故は「転落・墜落」。
- 天板への登り降りは、手かかり棒(乗鞍15号、18号)を持って両手を使い正しく昇降しましょう。
- 「乗鞍」にガタツキがないかチェックして登ってください。
- 滑りやすい履物での昇降などは行わないでください。
- 乗鞍の昇降は、かならず床面から行ってください。
- 手かかり棒には、寄りかからないでください。



すぐに取り除いてください

- 天板や伸縮脚ラック部に
- ① 泥、ペンキ、モルタル、コンクリート
- ② 凍結、雪
- などの付着や目詰まりがあれば、すぐに取り除いてください。
- また、伸縮脚ラック部の付着や目詰まりが取れない場合は絶対に使わないでください。



ご使用前に必ず、お読みください。

表面に使用上の注意事項、使用前点検のお願い事項を記載しております。

